



高田小だより

6年生修学旅行

平和の尊さを守る

11月30日(火)・12月1日(水)に、6年生は長崎へ修学旅行に行きました。計画当初は6月に予定したのですが、新型コロナウイルスの感染が拡大中で、延期して行ったものです。第五波といわれる感染拡大の波は全国的にもずいぶん落ち着いた状況ですが、完全に終息したわけではなく、他県への旅行とすることで保護者の皆様はご心配だったことと思います。しかし、旅行者との綿密な打ち合わせと関係施設等の感染防止対策、保護者の皆様のご協力もあって無事に終えることができました。ご理解とご協力を深く感謝いたします。

さて、旅先では心配していた雨の影響をともに受けてしまいました。予定では、語り部さんの被爆体験講話を聴いた後、平和祈念公園で平和集会を行う予定でしたが、風雨が激しくなり、急遽、予定を変更して原爆被災者協議会の施設の中で平和集会を行いました。雨が小康状態となったのでフィールドワ



雨の中、真剣に話を聞く子供たち

クには行きましたが、記録をとることが困難な状況でした。それでも、子供たちはボランテイアガイドさんの説明に真剣に耳をかたむけ見学地をしっかりと見て回っていて感心しました。

稲佐山ホテルでは夕食は食べきれないほどの料理がテーブルに並んでいて、子どもたちは何から食べるのか迷うほどでした。夕食から就寝までの時間が短かったのですが、部屋班ごとにいろいろなおしゃべりをしたりする

R3. 12月10日発行
文責：校長



ハウステンボスでは楽しくグループ行動しました

るなど、それぞれ時間を使っていました。友達とずっとおしゃべりしたいところでしたが、さすは子どもたち。10時過ぎにはほとんどの部屋で静かに過ごせていました。添乗員の方は必ずフロントから苦情が来るのですが、高田小は一件もなかったと感心されていました。

二日目は、雨が降ったりやんだりの中で、ハウステンボスでの自由行動でした。あらかじめアトラクションを回る計画は立てていたようですが、人気の場所では順番待ちの時間が長く、予定通りに回ることができなかつたようです。

一泊二日の修学旅行でしたが、子どもたちにとってはとても楽しい思い出になったようです。



各学年でチャレンジ走大会

12月9日(木)、澄み渡った青空の下で『チャレンジ走大会』を行いました。従来の「持久走大会」から目的と名称を変更したものです。他人との競走(争)や自己記録の更新に主眼を置いたものでなく、無理のない一定の速さ(ペース)で走ることによって、気持ちよく走る楽しさを味わわせ、呼吸循環器系の発達を促し、全身持久力を養う事を目的としました。3年生児童二人の感想をご紹介します。

「自分の気持ちよいペースがわかって楽しかったです。自分のペースがわかるまで時間はかかったけど、わかって嬉しかったです。」とても走るのが好きになったし、いい運動の機会だったと思います。スピードを変えないで走るのに工夫しました。」

マイペースでがんばりました

従来の持久走は、体育の嫌いな種目の上位に入っていました。その原因の一つにオーバーペースで走ってしまい、苦しいだけの印象が残っていました。生体体育を見据えた体育では、着順や速さにとらわれず、計画的に走れたかどうかを評価することによって、走る楽しさを身に付けることをねらいます。



5・6年生は河川敷を走りました



ペース配分を考えめあてをもって走る3年生



スタートと同時に一斉に飛び出す一年生